

<地上デジタルテレビ放送日本方式（ISDB-T（Integrated Services Digital Broadcasting - Terrestrial）とは>

国際標準となっている地上デジタルテレビジョン放送の規格には、大きく分けて日本方式、欧州方式、米国方式、中国方式の4方式が存在します。日本方式は、1つの送信機で固定端末向けと携帯端末向け放送を実現し、効率的な設備投資でネットワーク構築が可能といった優位性がある他、災害時や停電時のような状態であっても、電池で稼働しいつでもどこでも受信できる携帯端末向け放送や緊急警報放送等の機能は、災害対策のツールとしても有効です。

【日本方式採用各国の採用時期】

・ブラジル	2006年 6月
・ペルー	2009年 4月
・アルゼンチン	2009年 8月
・チリ	2009年 9月
・ベネズエラ	2009年10月
・エクアドル	2010年 3月
・コスタリカ	2010年 5月
・パラグアイ	2010年 6月
・フィリピン	2010年 6月
・ボリビア	2010年 7月
・ウルグアイ	2010年12月
・モルディブ(国営放送)	2011年10月
・ボツワナ	2013年 2月
・グアテマラ	2013年 5月

<日本方式の海外展開の状況>

日本は、ブラジルなど日本方式を採用した国とも連携し、いまだ方式決定をしていないアジア・中米・南部アフリカ諸国等にも採用を働きかけています。